

課題解決型インターンシップ

23プロジェクトに162人が挑戦

本年度は23プロジェクトに162人が参加。イベント実施、宣伝・マーケティング、商品企画の三つのテーマに添って8月にわたり活動した。多くの社会人や地域の人々に支えられながら、自分で考え行動する力を養い、仲間とともにチャレンジした活動の一部を紹介する。

子ども食堂の実態調査



社会的に関心が高まっている子ども食堂について、川崎市内の実態調査し、ネットワークづくりのためのフォーラムの開催を行った。子ども食堂は、地域のボランティアなどが子どもたちを食卓で支える活動で、唐澤美希さん(人間科学部)、森住美里さん(経営学)、横田亜門さん(法)の4人。

「敏子」に焦点 館内ツアー



10月に二つの館内ガイドツアーの企画に当たってメンバーは「表面的な理解では作品や人との繋がりを解読できなかった」と感じた。関連書籍を読みながら敏子に興味を覚え、彼女を主軸にした女性限定のツアーを開催することにした。

「食」で地域とつながる

まぐたまチーム



料理サークルによる調理風景=2017年10月19日

生田キャンパス周辺の地域と学生をつなげるためにどうすればいいか。「つながるコミュニティ」を支援する一般社団法人まぐたま(川崎市多摩区)からの課題に挑戦したのは2年次生4人。

住民参加で魅力伝える



風祭で活動を報告したメンバー。まぐたま代表理事の岡本さん(右)、理事の秋庭波里さん(左)と=2017年11月4日

生田キャンパスに通う学生が利用するJR南武蔵登戸駅から5駅の武蔵新城駅(川崎市中原区)の駅前中心に活動している「シンジョーまちなカレッジ」は、地域と人々が

成果発表会



23プロジェクトの成果を発表する課題解決型インターンシップの成果発表会が12月2日、生田キャンパスであった。各チームがそれぞれの活動について来場者に説明した。

ポスターで活動を紹介します

「今までにない企画で着眼点が素晴らしい」とチームを指導した同館学芸員の佐藤玲子さん。同館では現在、岡本敏子にスポットを当てた常設展を開催している。

第14回神奈川県産学チャレンジプログラム

最優秀賞に2チーム

神奈川県内の企業、大で賞状が手渡された。学生が解決案を提案する産学連携の課題解決型研究コンペ「第14回神奈川県産学チャレンジプログラム」(一般社団法人神奈川県経済同友会主催)で、専大からは2チームが最優秀賞、14チームが優秀賞を受賞した(別表参照)。

賞	学部	指導教員	メンバー(敬称略、全員3年次、先頭が代表)
最優秀賞	経営	福原康司	杉村翔太 坂本拓己 森田瑛子 渡辺和花
	経営	関根純	由川和男 大村浩 天野高太 松本千春
	経営	田口冬樹	相原康介 若林祐樹 西山奈央 坪井志織
優秀賞	経営	馬場杉夫	猪谷祐美 片山莉菜 小出泰佑 チョ・スンジュ
	経営	福原康司	諸星明香 飯塚千尋 一宮仁 杉山峻祐
	経営	内田飛路	諸星凌太 秋谷朱里 北原香奈 山本大樹
	経営	市瀬竜平	新井友梨香 三原遼太郎 秋山美乃理
	経営	森本祥一	遠藤大輔 芳賀光 市川潤 鈴木彩華 池田美月
	経営	内海佳奈	関口雄亮 井坂美穂 相澤司 坪内萌々
商	商	円城寺敬浩	吉見研人 加藤ゆり 田中瑠美
	商	石川和男	小泉凌我 菅野啓輔 小真真子
	商	鹿住倫世	新保美咲 大槻恭平 中村祥也 荒井美香
	商	中原孝信	中村祥之 高橋あやか 中田美由紀 呉程超

経営・福原ゼミ 杉村チーム



マンション・団地に成及び活性化アイデア「マンション」の形「ア(ヨコソ)」に取り組み、地域に成及び活性化アイデア「マンション」の形「ア(ヨコソ)」に取り組んだ杉村チーム(杉村翔太(杉村翔太)と普及

経営・円城寺ゼミ 由川チーム



「横浜ポルタのインバに対し、「特定の人しか」理解できない「言語」で「外国人客に非言語マップ」を制作した。外国人顧客の集客や顧客満足向上を目指し、横浜駅前地下街の横濱ポルタのインバに対し、「特定の人しか」理解できない「言語」で「外国人客に非言語マップ」を制作した。